

# 経営比較分析表

岩手県 金ケ崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	95.81	96.83	2,516

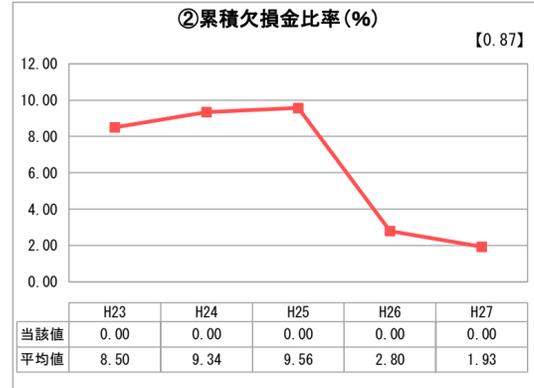
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
16,021	179.76	89.12
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
15,448	63.31	244.01

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成27年度全国平均

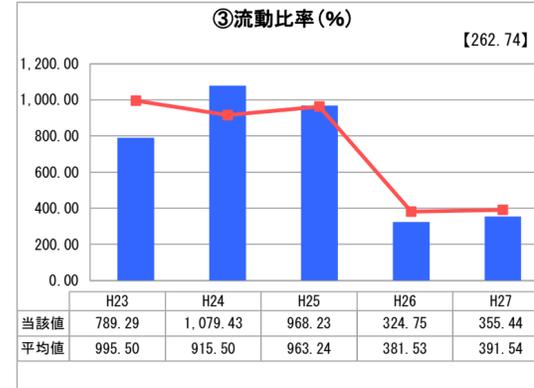
## 1. 経営の健全性・効率性



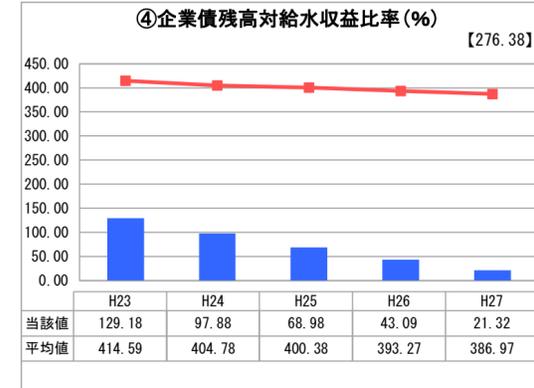
「経常損益」



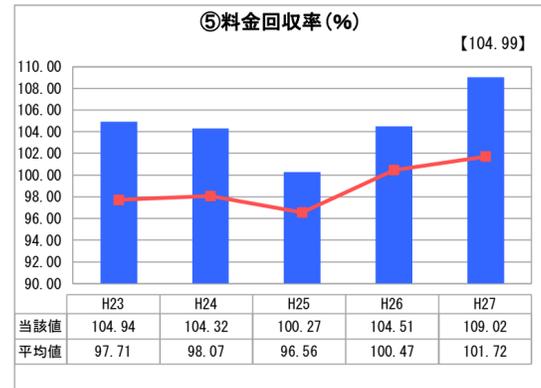
「累積欠損」



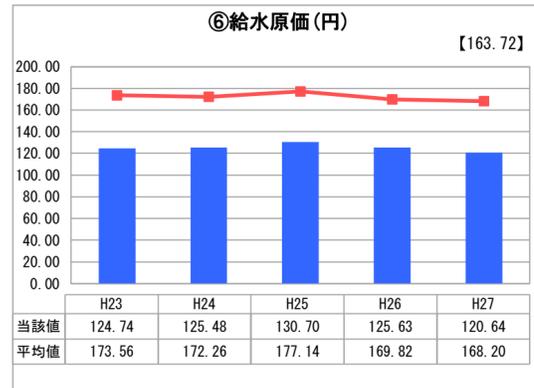
「支払能力」



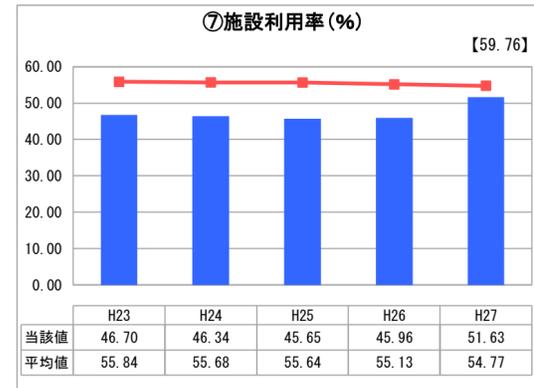
「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

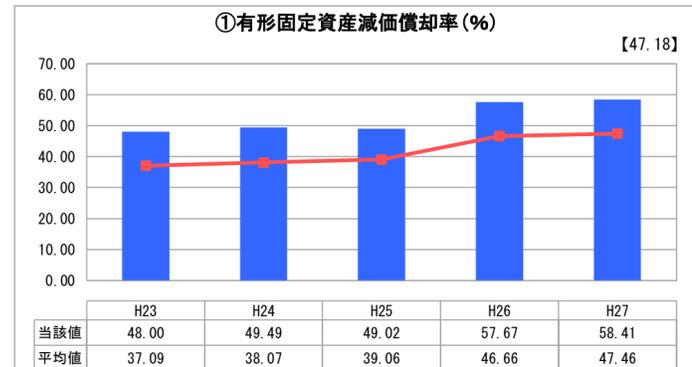


「施設の効率性」

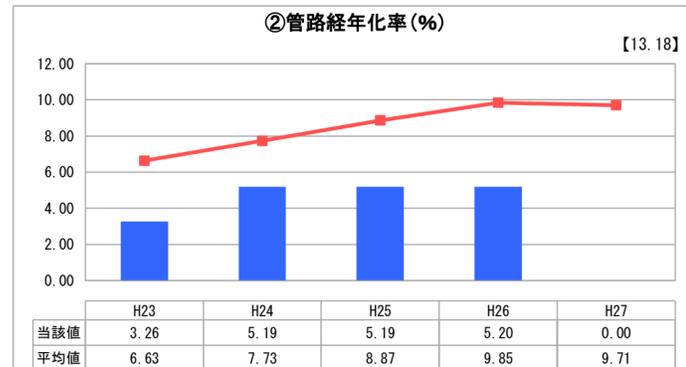


「供給した配水量の効率性」

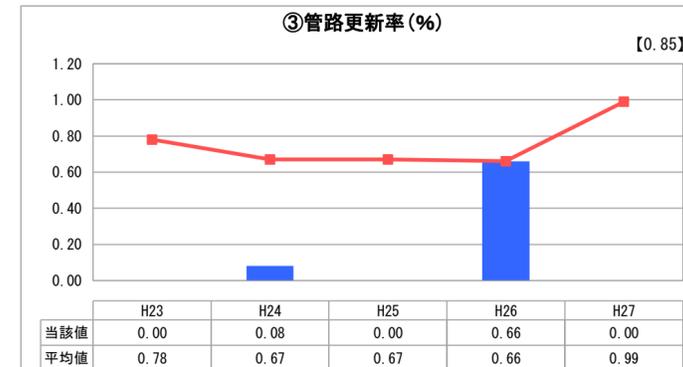
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えており、経常黒字を維持した経営を行っている。  
また、経常費用の削減により給水原価が減少傾向にあるとともに、供給単価は給水原価を上回っており収入を確保できている。さらに、料金回収率が100%を超え、給水費用を料金収入により賄っている状況からも、健全経営を維持できているといえる。  
流動比率に関しては、類似団体よりも若干低くはなっているものの100%を大幅に上回り、支払能力については十分であるといえる。企業債残高対給水収益比率についても、類似団体及び全国平均を大きく下回り、減少傾向にある。今後も企業債残高の削減に努めていく。  
施設利用率については工業用等の水需要が減少しているため休止施設が多くなっている。休止施設への費用削減及び廃止に向け検討を行っていく必要がある。  
有収率については、漏水の影響により大幅に減少しており類似団体平均及び全国平均を下回っている。漏水防止の徹底を行い改善に努める。

### 2. 老朽化の状況について

管路経年化率は全国平均及び類似団体を下回っており、老朽化した管路は少ない状況である。さらに、平成26年度の管路更新により平成27年度の管路経年化率については0となっている。  
しかし、有形固定資産減価償却率については、類似団体及び全国平均を上回っており、他団体よりも老朽化が進んでいる状況である。計画的な施設の更新に向け検討を行っていく必要がある。

## 全体総括

全国の類似団体と比較して健全な指標を維持できていることから、安定した経営が行われているといえる。  
しかし、今後給水人口の減少や節水傾向が進み、水需要は減少していくことが見込まれる一方、施設の老朽化への計画的な対応が必要になってくる。効率的な施設利用と計画的な更新などにより、健全経営を維持していく必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。